



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2019
10.31
No.64

CONTENTS

第4回 全国介護福祉総合 フェスティバル in さいたま 「渋沢栄一」に学んだ 介護福祉の歴史とこれから	2
「第4回 全国介護福祉総合 フェスティバル in さいたま」 アンケート	4
●協会推薦図書 介護経営白書 2019年度版	5
●今月の「介護ビジョン」 ●第4回 全国介護福祉総合 フェスティバル in さいたま 会場にて 「介護福祉経営士」が誕生 ●出前説明会のご案内	6
INFORMATION	7
イベント掲示板	8

「渋沢栄一」に学んだ 介護福祉の歴史とこれから

第4回 全国介護福祉総合フェスティバル in さいたま

一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会



お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>
制作:株式会社日本医療企画
編集・発行人:林 諄
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地
ニッセン神田ビル3階

「渋沢栄一」に学んだ介護福祉

さまざまなイベントを通じて、介護福祉に対する知見を深める機会となった「第4回 全国介護総合フェスティバルinさいたま」。特にメインテーマに掲げられた「渋沢栄一」については、多角的に考察する機会が設けられた。本特集では、渋沢栄一に関わる話題の中でも「渋沢栄一と社会福祉事業との関わり」について特に熱く語られたイベントの様子をレポートする。

渋沢研究の第一人者から学ぶ渋沢栄一と社会福祉事業との関係性

9月6日(金)に行われたパネルディスカッション「渋沢栄一から何を学ぶか～経営基盤の確立と人材育成のために」では一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事の川渕孝一氏を座長とし、養育院附属病院から発展した地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター顧問医の稲松孝思氏、長年渋沢の研究をしてきた元立正大学社会福祉学部教授で社会福祉法人麦の家理事の山名敦子氏が登壇。

はじめに山名氏は「社会福祉は、その時代の社会制度や経済の影響を受けやすい」と述べたうえで、社会制度の枠組みを意識しつつもその枠組みにとらわれない発想で社会福祉事業に取り組んだ渋沢の活動を詳しく紹介した。

また、養育院の立ち上げにあたって、共に事業に取り組む人材を集める際の真摯な姿勢と、関係各所を緊密につなぐネットワーク構築の手腕についても実例を交えて紹介し、渋沢の類まれな組織の構築力についても言及した。

その上で、渋沢による「自分が社会事業に関わるようになったのは偶然であり、関わるうちに出てきた問題になんとかせねばと対処するうちにだんだんと介入していった」という言葉を引用し、渋沢のもつ「問題をなんとかせねばならぬ」という思いは現代の介護福祉に関わる我々が見習うべき姿勢のひとつだと説いた。

稲松氏は、「日本に福祉を根付かせるため、これだけアクティブに活動した人が一切評価されていないことを不思議に思っていた」と語り、養育院との関わりを中心に渋沢の活動を紹介した。

養育院からは後の東京都立松沢病院、石神井学園、萩山実務学校など、日本の代表的な福祉施設が派生していることに触れ、養育院の運営に渋沢が尽力したことは後の日本の福祉の発展につながっていると述べた。

また、養育院の幹部の中には、社会福祉論の研究に長けた安達憲忠、田中太郎などの優れた人物が多く集まっていたことに触れるとともに、渋沢の丁寧かつ真摯な態度に感激した田中太郎が一度の面会だけで事業への参加を即決したエピソードを紹介し、現在の介護現場の人材獲得におけるヒントになるのではないかと述べた。

最後に座長である川渕氏から、「現代においても福祉における課題は残されている。なぜ“第二の渋沢栄一”が現れないのか？」との問いかけが投げかけられ、山名氏からは「個人の力を束ねて組織化する力をもった人が足りていない」、稲松氏からは「人を見る目をもった人物がトップに立てる環境づくりが必要」との意見があがった。

「令和時代の介護とどう向き合うべきか」ヒントがちりばめられたスペシャル対談

同じく9月6日(金)に行われたスペシャル対談「これからの介護福祉に残すべきもの、変えていくべきもの」では黒澤貞夫氏(一般社団法人介護福祉指導教育推進機構代表理事)と時田純氏(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会副代表理事)が登壇。神内秀之介氏(NB lab代表、介護福祉経営士1級)を聞き手に、介護に対する想いが語られた。

黒澤氏は、介護とは単なる日常生活の介護だけではなく、「過去、現在、未来を通じて価値ある人生をどう生きるか」とい

の歴史とこれから



う課題に向き合う仕事でもあると述べ、介護福祉職はこの「自分の人生をどう生きるかという利用者の意思」を残し、保持していけるように人間理解の基本を学び続けなければならないと語った。

その上で、人間を理解し、その人らしく十分に生きるための人間的なサービスを提供することは難しい課題であるとも述べ、哲学、社会学、心理学、あるいは宗教などで語られるさまざまな概念を集約して実務に活かすことは一生をかけてでも行うべき試みであろうとの見解を提示した。

また、現在の日本社会は技術革新による恩恵に酔いしれている状態であり、客観的数値ばかりがもてはやされていると断言。一方、介護においては自己決定を行う際の「迷い」にすら意味があり、こうしたデータ化できない側面とあわせ、地域性、文化・文明と言ったものをもう一度再構築し、思考的、倫理的な変革を行っていく必要があると説いた。

時田氏は、渋沢の著書「論語と算盤」の内容を参照しながら、生きた倫理、道徳の観念に基づいて、公益と私益とのバランスがとれた経済活動を展開した渋沢の業績の大きさを強調し、このバランス感覚は現在の社会福祉に関わる者が受け継いでいくべきものであると述べた。

「富を増せば増すほど社会の助力を受けているわけだから、その恩恵に報いるに救済事業をもってすることはむしろ当然の義務である。できる限り社会のために助力せねばならぬと思う」、「我々は金を尊んで善用することを忘れてはならない。金は尊むべき、また卑しむべきものであり、これを尊ぶべき



人間理解の重要性を説く黒澤氏



介護という仕事の素晴らしさを語る時田氏

ものたらしむるのはひとえに所有者の人格による」という渋沢の二つの言葉を引用し、社会福祉に携わり働くにあたって「自分たちは何のために働いているのか」を問い直し、自分のミッションを明確化したうえで、品位のある、恥ずかしくない仕事をしているかどうかを自問していかなくてはいけないと説いた。

また、「一個人に利益のある仕事よりも、多数社会を益していく仕事をしなければならない」という渋沢の想いを引き継ぐのは、まさに現代の社会福祉法人であり、今こそ公益法人としての本当の仕事をする時が来ていると語った。

さらに、「介護職自身がこの仕事についての素晴らしさを実感し、社会にアピールしていったほしい」と述べ、介護という仕事の素晴らしさについても言及した。

最後に黒澤氏からは「何を残すか、何を残すかについては今ここで答えが出るようなテーマではない。今日の座談会を契機に介護の現場でこの問題をお互いに問いかけ合い、考えるきっかけにしてほしい」、時田氏からは「現在の介護保険制度のあり方は、社会福祉法人の経営基盤が年々弱体化するしくみとなっている。このことに危機感をもちながら社会福祉制度の存続について考えてほしい」というメッセージが会場の参加者に向けて送られた。

今回紹介したパネルディスカッションと、座談会は「現在の介護福祉の概念が、何を源流としているのか」について考えさせられる発議が多く行われたイベントとなった。渋沢の時代に比べ、今私たちが関わっている介護は、はたして進化しているのか、それとも退化しているのか。今一度それを問い直してみたい。

「第4回 全国介護福祉総合フェスティバル in さいたま」アンケート(抜粋)

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会では、第4回全国介護福祉総合フェスティバルinさいたまの参加事前登録者に向けてアンケート調査を行った。

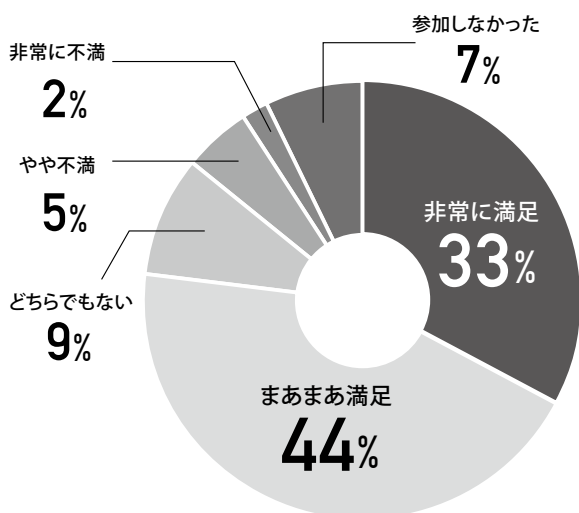
結果として約7割の参加者から満足度が高かったとの返答が得られたが、「参加しにくい日程だった」、「宣伝をもう少し工夫すべき」といった開催日程や告知方法に対する厳しい意見も寄せられた。

介護福祉経営士資格については7割近くの参加者が認知していなかったとの結果が出たが、一方でフェスティバルに参加したことにより介護福祉経営士の存在を知ったという声もあり、今後の介護福祉経営士の普及の足掛かりとなるのではないだろうか。

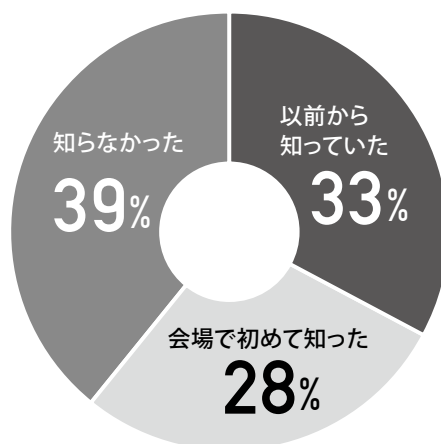
今回のプログラムで注目度が高かったのは「介護ロボット」「IT/ICTシステム」「福祉用具・機器」であり、実際に当日の会場の体験コーナーも好評であった。これらの項目が注目を集めたのは、カタログではなく実際に現物に触れることができる機会であったことに加え、人材不足による業務の効率化に興味をもつ介護事業者が増加していることも背景にあると考えられる。

その他にも「より若手の介護職が参加できるようにすべき」との意見や「もっと展示を増やしてほしい」などの意見も寄せられ、今後の運営やプログラムの参考とさせていただきます。

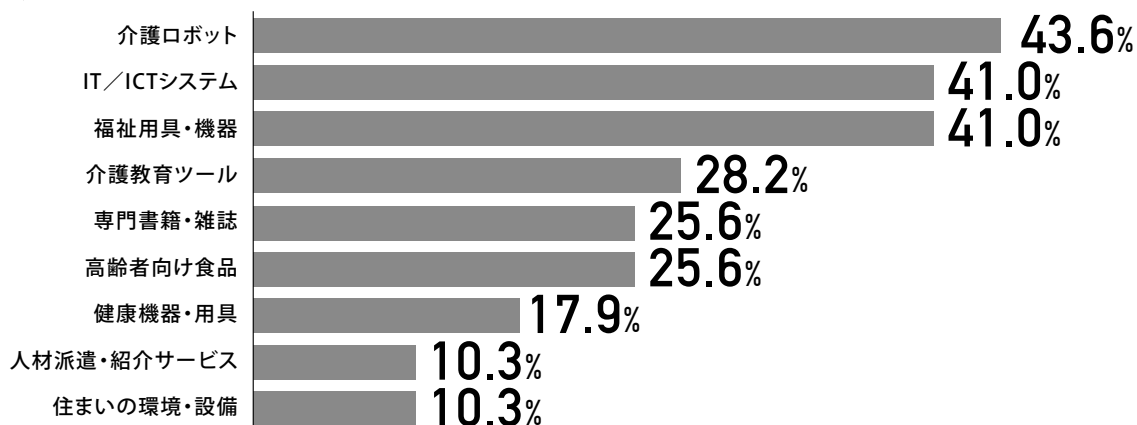
Q 参加して全体的な感想はいかがでしたか



Q 「介護福祉経営士」についてご存知でしたか。



Q 展示について、どのような展示に関心がありますか。(複数回答)





介護経営白書 2019年度版

好評
発売中!!

今、急がれる経営基盤の確立と人材育成 ——制度依存から自立する介護経営

わが国の人口構造の変化や団塊世代が後期高齢者となる2025年を見据え、高齢者介護を社会で支えるしくみを構築することが国策により進められてきました。医療制度と異なり、民間企業の参入を受け入れたことにより介護サービスの量は飛躍的に増え、ホームヘルパーという職種が国民にも身近なものとなり、大きく広がっていきました。誰もが低価格で利用できるサービスは、介護を必要とする多くの高齢者の在宅生活等を支えていきました。しかし、その反面、さまざまな弊害も生じました。制度開始から6年目には、コムスン事件が起こり不正な申請による業務取り消しなどが問題となり、2008年には、リーマンショックの世界的金融危機の影響により介護人材の層も大きく様変わりをしていきました。量から質の時代へシフトすることが求められ、制度改正も度々行われていくこととなりました。

そうしたなかで、人材不足や定着率の低さがますます深刻化しています。人の役に立つ仕事がしたいと志をもって職に就いた若者がわずかな期間で退職していく現場では何が起きているのでしょうか。急速に拡大してきた業界には、多くの非常識が

蔓延しているのかもしれませんが。マネジメントの視点なき経営は、働く人にもサービスを受ける人にも多くの不利益をもたらします。介護業界において、今、急ぎ求められることは、介護経営の基盤の確立と人材育成です。本書において、そのための方策を模索し、介護経営の未来を展望していきます。

- 編集委員代表：
多田宏（一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会代表理事）
- 編集委員：
青木正人（株式会社ウエルビー代表取締役）
川淵孝一（東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授）
- 企画・制作：ヘルスケア総合政策研究所
- 発行：日本医療企画
- 書籍体裁等：B5判 268ページ
- 定価：4,500円＋税
- ISBN：978-4-86439-847-3

目次

第1部 経営基盤の確立と人材育成

- 第1章 【特別座談会】今、急がれる経営基盤の確立と人材育成
- 第2章 他業種との比較から見える採用の課題と展望
- 第3章 介護福祉サービスの質向上のための方策
- 第4章 介護事業者の財務の現状と課題
- 第5章 介護業界におけるICT活用の重要性
- 第6章 トップランナーに聞く
- 第7章 介護経営を担う人材の育成

第2部 人生100年時代の介護の未来を語る

- 第1章 人生100年時代における介護の未来
- 第2章 【特別対談】人生100年時代の地域と人づくり

第3部 介護経営トレンド情報

- 第1章 「ケアを必要とするヒトに、ヒトによるケアを」進めるテクノロジー
- 第2章 仕事を細分化し、介護シェアリングを実践
- 第3章 “元気な高齢者”を介護人材不足の切り札に
- 第4章 外国人採用における日本企業の現状
- 第5章 多職種連携による食支援で高齢者が生き生き
- 第6章 介護職におけるACP (Advance Care Planning) 推進の展望
- 第7章 KAIGO × Creative が織りなすくつろぎの場 “as a café”
- 第8章 在宅ケアの最前線
- 第9章 広がる介護の役割

巻末付録：

- 1.データに見る平成の社会と介護
- 2.介護平成史

地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

介護が変わる 地域が変わる **介護ビジョン**

地域介護経営

今月の

第1特集

若者に響く“人材獲得戦略”のヒントがいっぱい！
学生の本音から学ぶ
新卒学生の採り方、育て方

第2特集

売上増やコスト削減だけではない
+αにつながるサービス

トップに聞く

公益社団法人神奈川県介護福祉士会 会長
コッシュイシイ 美千代 氏

20代前半から介護福祉士として30年弱、地域の高齢者介護に携わり、昨年6月、設立時から籍を置いている公益社団法人神奈川県介護福祉士会の会長に就任したコッシュイシイ美千代氏。介護福祉士の置かれた現状を踏まえたうえで、介護福祉士会に求められる役割や課題、今後の展望について語っていただいた。インタビュアーは大久保典慶氏（介護福祉経営士1級）。



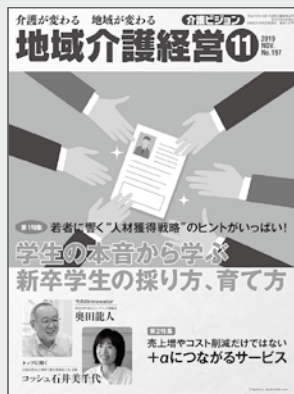
コッシュイシイ 美千代氏



【インタビュアー】
大久保 典慶氏
株式会社エス・エム・エス
メディア企画部SEOグループ
介護福祉経営士1級

2019年11月号

(2019年
10月20日発売)



詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価：1,296円（税込）
- 定期購読料：15,552円（税込）
- ※ 会員価格は12,444円（税込）

第4回 全国介護福祉総合 フェスティバル in さいたま 会場にて 「介護福祉経営士」が誕生！

9月7日(土)第4回全国介護福祉総合フェスティバル inさいたまの会場にて「介護福祉経営士2級」資格認定試験が行われました。

受験者たちは午前中に実施された試験対策講座（講師：馬場博氏／一般社団法人C.C.Net専務理事・チーフアドバイザー）を受講し、これまで学習してきた知識の再確認を行いました。

試験への準備をしっかりと終えた受験者たちはそのまま午後の試験を受験、その場で合否の判定が行われ、受験者全員が合格しました。

フェスティバル会場での資格認定試験は昨年から行われており、2年連続で介護福祉経営士が誕生しています。

合格者のみなさま
合格おめでとうございます！



出前説明会のご案内

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会では、介護福祉経営士資格の普及を図るために「出前説明会」を行っています。資格のメリットや具体的な活動を知ることができる絶好の機会です。ぜひご活用ください。

応募要件

- ①原則5名以上の方が参加すること
- ②会場（会議室など）をご用意いただけること

費用

無料で開催いたします。

応募方法

開催希望日の2週間前までに
協会ホームページからお申込み下さい。

▶詳しくは出前説明会詳細ページを
ご覧ください。

<http://www.nkfk.jp/setsume.html>



INFORMATION

消費税増税に伴う料金改定のお知らせ

2019年10月1日から消費税率が10%へ引き上げられたことに伴い、各種料金を下記の通り改定いたします。

皆様にはご負担をおかけしますが、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

■消費税増税に伴う料金改定表(税込)

		従来価格表示 (税率8%)	新価格表示 (税率10%)
受験料	1級	10,220円	10,400円
	2級	8,500円	9,000円
入会金 (登録料)	個人正会員	5,000円	5,250円
	学生会員	無料	無料
	法人正会員A(指定介護保険事業所数10以上)	100,000円	105,000円
	法人正会員A(同5以上)	50,000円	52,500円
	法人正会員A(同5未満)	30,000円	31,500円
	法人正会員B(資本金1億円以上)	200,000円	210,000円
	法人正会員B(同3,000万円以上)	100,000円	105,000円
	法人正会員B(同3,000万円未満)	50,000円	52,500円
年会費	個人正会員	10,000円	10,500円
	学生会員	無料	無料
	法人正会員	10,000円	10,500円
	賛助会員	100,000円(一口)	110,000円(一口)
等級変更事務手数料		2,600円	2,600円
更新手数料		10,800円	11,000円
再発行費用	合格証明書類	2,600円	2,600円
	認定証	2,600円	2,600円
情報誌『Sun』	1冊あたり	1,080円	1,100円

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

北海道支部

社会保障ゼミ

政府が進める安心につながる社会保障とはどのようなものなのだろうか。事業を行う上では、社会保障の動向を確認し対策を講じなくてはならない。政府の進める給付負担増や給付の削減による痛みの伴う議論がスタートしつつある中、国の方向性を確認し、業界について学べる勉強会。

- 日時：2019年11月22日(金)、12月20日(金)、2020年1月17日(金)
各回18:30~20:00
- 講師：神内秀之介氏(N&B care and welfare management laboratory代表、介護福祉経営士1級、スマート介護士(basic))
- 会場：日本医療企画北海道支社セミナールーム
(北海道札幌市中央区南1条西6丁目15-1 札幌あおばビル201)
- 受講料：協会会員2,000円、一般3,000円 ※税込
- 定員：20名 ※参加者が10名に満たない場合は開催を中止することもあります。
- 共催：株式会社日本医療企画

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 北海道支社
TEL:011-223-5125

九州支部

看護師のためのチームで取り組む排泄ケア

排泄ケアにチームで取り組むことの意義や具体的な方法、排尿・排便障害のアセスメントとケア方法、そして自立支援に向けた具体的な手法、認知症患者の排泄ケアについて、全4回にて開催。

- 日時：2019年7月15日(月-祝)、8月24日(土)、9月1日(日)、11月10日(日)
各回13:30~17:00
- 講師：種子田美穂子氏(大牟田市役所保健福祉部健康長寿支援課コンチネンスアドバイザー、NPO法人日本コンチネンス協会九州支部副支部長)
- 会場：第三博多借成ビル4階 大会議室(福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-6)
- 受講料：協会会員4,000円、一般5,000円 ※税込
- 定員：50名



お問い合わせ 日本介護福祉経営人材教育協会 九州支部
(株式会社日本医療企画 九州支社 内)
TEL:092-418-2828

日本医療企画

2020年度診療報酬改定と病院の経営改善事例

2019年10月より消費税率が8%から10%に上がり、2020年度診療報酬改定の議論が本格化する。そんな中、医療経営士向けに開催された中村塾と医療経営士1級対策講座を開催した長ゼミが夢の共演。2020年度診療報酬改定の情報収集だけでなく、患者視点の医療経営、そして現場での実践的対策を参加者と一緒に学んでいく。

- 日時：2019年10月17日(木)、12月19日(木)、2020年2月20日(木) 各回13:00~16:15
- 講師：中村彰吾氏(公益社団法人医療・病院管理研究会理事)
長英一郎氏(東日本税理士法人代表社員、所長)
- 会場：ニッテン神田ビルセミナールーム
(東京都千代田区神田東松下町17 ニッテン神田ビル3階)
- 受講料：全3回12,000円、各回5,000円 ※税込
- 定員：各回70名 ※定員になり次第、締め切り

お問い合わせ 株式会社日本医療企画
TEL:03-3256-2885

日本医療経営実践協会

第8回「全国医療経営士実践研究大会」 仙台大会

「地域を動かす医療経営士の現場力——新たな『企画』『提案』『実践』が医療を変える!」をテーマに、仙台市にて開催する。また、第1回(2018年度)「医療経営に関する研究助成」も同時開催。

- 日時：2019年11月9日(土) 13:00~18:15、10日(日) 8:30~16:30
- 会場：ホテルメルパルク仙台(宮城県仙台市宮城野区榴岡5-6-51)
- 参加登録：事前に大会特設ページより登録が必要
「第8回全国医療経営士実践研究大会 仙台大会」で検索
- 参加費：事前登録期間9月30日までに参加登録すると、割引料金にてご参加いただけます。
<9月30日までに参加登録した場合>
両日参加：会員9,000円、一般15,000円 / 1日参加：会員5,000円、一般9,000円
<10月1日以降に参加登録した場合>
両日参加：会員14,000円、一般20,000円 / 1日参加：会員8,000円、一般12,000円
※介護福祉経営士は会員価格を適用する

お問い合わせ 大会運営事務局
一般社団法人日本医療経営実践協会
TEL:03-5296-1933

これからの福祉と医療を 実践する会

第451回例会 外国人看護・介護スタッフの長期定着化へ ……働きやすい環境構築と日本で働く意識

外国人スタッフは採用から入国までの受け入れ準備と手続き以上に、職場に馴染み、長期的に患者、利用者に感謝されるサービスを実践・継続してもらえるかが重要だ。EPAによる看護師、介護福祉士候補の受け入れを制度創設時より行っている医療法人社団永生会の取り組みを、永生会で働く外国人スタッフと意見交換をしながら、ともに考える。

- 日時：2019年11月15日(金) 14:00~16:30
- 発題者：宮澤美代子氏
(医療法人社団永生会法人本部相談役兼看護・介護採用担当部長)
- 会場：戸山サンライズ大会議室(全国障害者総合福祉センター)
(東京都新宿区戸山1-22-1)
- 参加費：一般15,000円、これからの福祉と医療を実践する会会員8,000円
※例会後に情報交換会あり。情報交換会費5,000円
- 定員：50名

お問い合わせ 一般社団法人これからの福祉と医療を実践する会
TEL:03-5834-1461

一般社団法人 全国ノーリフティング推進協会

第6回全国大会in埼玉

一般社団法人全国ノーリフティング推進協会が会員相互、医療・介護業界の交流の場として開催する全国大会。福祉用具や介護ロボットの活用をテーマとした基調講演が予定されているほか、「ノーリフティングの導入でケアの質を高める」をテーマとした演台発表が行われる。

- 日時：2019年11月19日(火) 13:00~18:00
- 会場：ソニックシティ小ホール(埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5)
- 参加費：社員(会員※)1,000円、賛助社員(賛助会員※)、
後援団体会員3,000円、一般5,000円
※会員、賛助会員とは一般社団法人全国ノーリフティング推進協会の会員をさします。日本介護福祉経営人材教育協会の会員には後援団体会員価格3,000円が適用されます。
- 定員：400名

お問い合わせ 一般社団法人全国ノーリフティング推進協会事務局
TEL:052-856-0611